

<我が国経済の基調判断>

景気は、依然厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる。

失業率が高水準で推移するなど、雇用情勢は依然として厳しい。

個人消費は、横ばいで推移するなかで、一部に底固さもみられる。

輸出は大幅に増加しており、生産は持ち直しの動きがみられる。業況判断は全体として改善がみられ、設備投資は減少しているものの、先行きについて下げ止まる兆しもみられる。

先行きについては、輸出の大幅な増加や生産の持ち直しの影響が、今後経済全体に波及していくなかで、景気は持ち直しに向かうことが期待される。一方、世界的な株安やドル安が進展したことにより、世界経済の先行き不透明感が一層高まっており、我が国の最終需要が下押しされる懸念がある。